

令和7年度学校自己評価について、次のとおり報告します。

令和7年度 倉敷市立倉敷翔南高等学校 学校評価書

【学校経営目標・計画】

1 進路実現に必要な基礎学力の育成のための授業の充実	2 社会で通用する人間性を養うためのキャリア教育の推進	3 よりよい人間関係づくり、社会参画のための特別活動の充実	4 魅力ある学校づくりの推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>翔南授業ルールを基本とした生徒が学びの主体となる「わかる授業」の実施</li> <li>授業におけるICT活用、学び直し、UD化の推進</li> <li>教師の指導力向上のための授業研究・校内研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「総合的な探究の時間（STEP）」「産業社会と人間」「企業研究」等を核とした教科横断的指導によるキャリアトレーニングの実践</li> <li>キャリア・パスポートを活用した継続的指導</li> <li>規範意識を高め、社会で必要なマナーやコミュニケーション力を育成する取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事、生徒会活動、委員会活動、地域連携活動、ボランティア活動等の積極的参加によるライフスキルトレーニングの実践</li> <li>自他を認め合い、自尊感情を高める実践</li> <li>健康で安全な生活態度や規律ある習慣の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動全体を通して「社会人として自立するための（3つの力）をつける」取組の充実</li> <li>3つの力＝「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」</li> <li>本校の特色・魅力の積極的な情報発信</li> </ul>

4段階評価(A:目標を十分に達成 B:ほぼ目標を達成 C:やや不十分 D:改善を要する)

	担当 (分掌・年次)	評価項目(具体的な計画)	自己評価(中間)		自己評価(最終)		総合評価	改善策
			今年度の達成基準	達成状況	評価	達成状況		
1	教務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>翔南授業ルールの徹底をする。</li> <li>オープンクラスウィーク等を通して、授業研究を充実させ、わかる授業を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に社会人として自立する力をつけるために、翔南授業ルールをすべての授業で徹底する。(翔南授業ルールアンケートにより検証)</li> <li>学校自己評価アンケート</li> <li>「授業は分かりやすく工夫されている。」(生徒) ⇒肯定的回答 100%をA、80%以上をBとする。(昨年度88%)</li> <li>「授業公開・授業評価を行い、結果を授業力向上に活かしている。」(教職員) ⇒肯定的回答 100%をA、90%以上をBとする。(昨年度97%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月の教員対象アンケート結果により、翔南授業ルールはほぼ全ての授業で実践できている。今後も引き続き指導の徹底を図るとともに「わかる授業」の実現を目指した授業改善の推進が必要である。</li> <li>5月のオープンクラスウィークで、互いの授業参観と保護者への授業公開を行った。参加は、12名であった。10月にも実施予定である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月の生徒への授業アンケートにより、翔南授業ルールの各項目についての「普通」以上の回答は、ほぼ95%前後となっている。翔南授業ルールは昨年同様定着していると判断できる。</li> <li>学校自己評価アンケート(肯定的回答)</li> <li>(生徒)「授業は分かりやすく工夫されている。」 →81%(昨年度比7ポイント減)</li> <li>(教職員)「授業公開・授業評価を行い、結果を授業力向上に活かしている。」 →93%(昨年度比4ポイント減)</li> <li>5月、10月にはオープンクラスウィークで相互の授業参観を行い、外部への授業公開も行った。(5月は12名、10月は19名が参観)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「翔南授業ルール」のより一層の定着を図るとともに、教科に対する興味・関心を高め、「わかる授業」が実践できるよう、授業改善を進めていく。</li> </ul>
	2年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>翔南授業ルールを遵守する。</li> <li>授業におけるUD化の工夫改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業準備を完了し、開始時間を迎える。(昨年度1年次100%)</li> <li>授業の前後できちんと挨拶ができる。(昨年度1年次96%)</li> <li>校則を意識して学校で生活できている。(昨年度1年次95%)</li> <li>⇒3項目とも年次アンケートにて肯定的回答を90%以上とする。(A:95%以上、B:90%以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月の教員対象アンケート結果により、翔南授業ルールはほぼ全ての授業で実践できている。今後も引き続き指導の徹底を図る。各クラスの連絡や授業内で音声情報だけに偏らない工夫を継続している。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業準備を完了し、開始時間を迎える。→94.6%</li> <li>授業の前後できちんと挨拶ができる。→92.9%</li> <li>校則を意識して学校で生活できている。→91.1%</li> <li>UD化については音声情報だけでなく、文字やイラストを用いて掲示物を作成した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「翔南授業ルール」のより一層の定着を図るとともに、授業内だけでなく、普段から生徒に指導していく。</li> </ul>
	1年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>翔南授業ルールを遵守する。</li> <li>わかる授業の実践をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業準備を完了し、開始時間を迎える。(昨年度1年次100%)</li> <li>授業の前後できちんと挨拶ができる。(昨年度1年次96%)</li> <li>授業はわかりやすく工夫されている。(昨年度1年次95%)</li> <li>⇒3項目とも年次アンケートにて肯定的回答を80%以上とする。(A:85%以上、B:80%以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時間までに準備物と服装が完全にできている生徒が8割程度いる。準備物がスムーズに確認できるようにロッカーの整理整頓の仕方等、個別指導を行っている。</li> <li>挨拶は、まだまだ指導が必要である。</li> <li>ITを活用して授業の中での個別指導にも力を注いでいる。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業準備を完了し、開始時間を迎える。→87.9%</li> <li>授業の前後できちんと挨拶ができる。→84.5%</li> <li>授業はわかりやすく工夫されている。→88%</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「翔南授業ルール」のより一層の定着を図るとともに、全ての教育活動において、教員の共通理解のもと、生徒の指導をしていきたい。</li> </ul>
2	進路課	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業社会と人間、職場見学・体験・学校見学、企業研究などを通して進路意識を高め、生徒一人ひとりの適性に応じた進路指導を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業見込生徒55名のうち、就職希望者と進学希望者が進路決定して卒業できるようにする。(Aは100%、Bは95%以上)</li> <li>キャリアトレーニングに参加した生徒の進路意識が高まる。(年次アンケート:自分の進路実現に向けて意欲的にチャレンジAは80%、Bは70%)</li> <li>進路希望調査で「未定」と答える生徒の数を減少させる。(Aは25%以下、Bは35%以下)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業予定者のうち、進学希望者14名は全員出願手続きを行った。就職希望者31名のうち、24名が一次試験で応募。その他の生徒についてもそれぞれの課題に応じて活動している。多くの生徒が積極的に進路決定に向けて活動している。</li> <li>キャリアトレーニングの参加率は、パス見学会89%、職場体験88%で高い参加率であった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業見込生徒のうち、就職希望者97%が内定(活動中1名)、進学希望者は100%。</li> <li>12月の進路希望調査で1.2年次7割以上の生徒が進学または就職の希望を持っている。未定の生徒が26%(1年次32%、2年次19%)であった。</li> <li>年次アンケート自分の進路実現に向けて意欲的にチャレンジは2年次50%、3年次78.1%全体では64%が肯定的回答。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここ数年、就職活動が1.2月になる場合が増加している。引き続き個別支援での対応を大切にしていきたい。2年次の未定者が少し多いことが気になるが、先輩の話を聞いたり、自分の体験を通して迷いが出ているのではないかと推測している。来年度も2.3年次の各進路活動に積極的に参加させたい。</li> </ul>
	3年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路意識を高め、ホームルーム活動や企業研究等を通して社会人に必要な力をつける。</li> <li>進路課と連携し、進路の手引きとキャリア・パスポートを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業見込み生徒55名のうち、就職希望者と進学希望者が進路決定して卒業できるようにする(昨年度96.6%)。</li> <li>評価基準 A-100% B-95%以上</li> <li>定例の年次会議等で毎回普段の様子に加え、卒業後の進路についても生徒情報を共有し、生徒一人ひとりに適した支援を行い、自立する力の育成を行う。</li> <li>年次アンケート項目「自分の進路実現に向けて、意欲的にチャレンジしている。」(昨年度3年次88.1%)</li> <li>評価基準 A-肯定的回答90%以上 B-80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業見込み生徒のうち、進学希望者14名・就職希望者24名が順調に出願・応募を終えている。</li> <li>Handyの活用や進路の手引きの活用、ホームルーム活動や企業研究等効果的に活用できている。</li> <li>進路課や年次教員の連携・協力で、個に応じた指導・支援や情報共有をすることができ、生徒の進路意識が大きく高まる一助となっている。</li> <li>繰放6名を除く進路未定者11名の生徒の進路活動を今後もサポートしていきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職・進学希望者ともに現在も活動中の生徒がいる。当初卒業のみを目標にしていた生徒も就職・進学を目指した点において、粘り強く指導した効果がみられたと感じる。</li> <li>年次アンケート項目「自分の進路実現に向けて、意欲的にチャレンジしている」の肯定的回答が78.1%であった。予想より低い数値となっているが、教員目線では高い評価ができている。「社会に出て通用する礼儀・マナーが身についたか」が88.9%、「教員から注意されたら素直に従える」が93.4%と高かった。進路実現を目指す過程で身についたと考えられる。</li> <li>多様な生徒がいる中で、担任を中心に年次と進路課が連携・協力して生徒の適性に応じた指導を年間を通じて行うことができた。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路を決定させて卒業したいという生徒が年度当初より増え、活動スタートが遅くなくても前向きに、積極的に取り組んでいる。年度末まで粘り強く対応し、できる限りの支援を行う。</li> <li>今年度卒業できないことが確定している生徒が現時点で4名いる。来年度に向けて、本人にとってよい方向性を探っていきたい。</li> </ul>
3	厚生課	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健指導により、心身ともに健全な生活習慣を身につけさせるとともに、主体的に心と体の健康を守ろうとする意識を育む。特に、今年度は歯の治療率の向上を目指す。(3年計画の3年目)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断結果を保護者懇談やカウンセリングウィークの面談を利用して、生徒や保護者に治療を促したり、LHR(心と体の健康に関する講座)で健康に関する講話や実技指導を行い、治療率の向上を目指す。</li> <li>A:治療率30%以上、B:治療率10%以上、C:治療率10%未満(参考:令和4年度治療率14.5%、令和5年度17.7%、令和6年度29.2%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断結果を、夏季の保護者懇談を通じて本人及び保護者に通知し、治療のお願いをした。後期は、年度当初の計画どおり、LHRで講話や実技指導を行い治療率の向上を図りたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度より、治療率30%以上の目標を立てて、3年間取り組んできた。今年度は、12月の時点で40%以上の治療率を達成することができた。(参考:令和4年度治療率14.5%、令和5年度17.7%、令和6年度29.2%)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯の治療率については、3年計画で目標を達成することができた。来年度からは、また新たな課題を見つけて計画的に取り組んでいきたい。</li> </ul>
	教育相談室	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフスキルトレーニングや「UP!」を通して、他者とつながる力を身につけ、よりよい人間関係を形成する。</li> <li>生徒の個々の悩みや問題に対し、外部機関と繋げ、安心して過ごせる学校生活を実現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフスキルトレーニングや学校設定科目「UP!」(夜間部)を活用し、コミュニケーション力や社会的スキルを身に付けさせる。</li> <li>1年次対象アンケートの肯定的評価(Aは80%以上、Bは60%以上)</li> <li>「中学校時代に比べコミュニケーション能力が向上した」(昨年度94.6%)</li> <li>「授業中のグループ活動で誰とでも関わることができる」(昨年度85.7%)</li> <li>「クラスでより良い人間関係が築けている」(昨年度89.2%)</li> <li>SCやSSW等の外部機関と連携し、好ましい人間関係づくりや学校生活を支援する。</li> <li>各年次で生徒情報を集約し、定期的に教員全体で情報共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフスキルトレーニングを通じて社会的スキルを育成する時間が取れた。</li> <li>夜間部「UP!」はSCと連携し実施することができた。</li> <li>SCやSSWに繋ぐべき事案を把握し、様々な機関と連携を図ることができた。</li> <li>毎月気になる生徒情報を集約し、教員間で共有することができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次対象「生徒への学校生活アンケート」結果の肯定的評価</li> <li>「中学校時代に比べコミュニケーション能力が向上した」→77.6%</li> <li>「授業中のグループ活動で誰とでも関わることができる」→65.5%</li> <li>「クラスでより良い人間関係が築けている」→84.5%</li> <li>様々な人間関係トラブルを経て、徐々に落ち着いてきた様子がかえり一方、他者と関わり人間関係を作ること自体に困難を感じている生徒が例年に比べ増加している。気になる生徒情報を教員全体で共有し、フォローする体制づくりに役立った。SCやSSWの活用も継続的にい生徒の学校生活を支援することができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCやSSWとの情報共有や連携をさらに綿密にし、生徒がよりよい学校生活を過ごせるよう助言等いただく。また、生徒の特性を踏まえたコミュニケーショントレーニングを計画・実行していきたい。</li> <li>コグトレを用い、生徒自身の認知能力を高め、受け取り方やものの見方の改善を目指すための実施方法を探っていきたい。</li> </ul>
	生徒課	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事、生徒会活動、委員会活動、ボランティア活動等を通じて、社会の一員として自主的・実践的な態度を育てる。</li> <li>自他を尊重し安全な生活態度や規律ある習慣を定着させ適切な行動がとれる力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校自己評価アンケート</li> <li>生徒の自主性を重視した活動が推進されている。(教員対象・昨年度肯定的評価100%)</li> <li>言葉遣いや服装、日常生活のマナーが身につくように指導してくれる。</li> <li>(生徒対象・昨年度肯定的評価91%)</li> <li>2項目共に昨年度以上の場合「A」、昨年度以下5%までを「B」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員に生徒指導に関する対応等について年度当初にオリエンテーションを行い、統一した指導ができるようにした。</li> <li>入学生生に対して4月に学校のルール等について説明をした。</li> <li>各集会で自分の言動に気を付けるよう注意している。</li> <li>先生方が積極的な声掛けを通して関係性を構築することで、次第に指導の効果が表れている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じて、先生方は毎日細やかに指導を行ってくださったおかげで、各年次とも落ち着いた学校生活を送れるようになってきた。</li> <li>生徒との関係性の構築に腐心して下さり、指導の効果も以前よりも増しているように思う。また、以前とは異なる特性を見せる生徒も現れており、教育相談との連携が不可欠である状況は変わらない。</li> <li>学校自己評価アンケートに基づく評価基準として設定した回答項目について、いずれも減少(前年比)となった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導への「多忙感」「困難感」が以前に増してきた状況を踏まえ、校則内規の見直しや指導項目の再考を行いたい。</li> <li>教育相談係との効果的な連携について、さらに模索していきたい。</li> </ul>
4	教務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンスクールの円滑な実施、ホームページの定期的な更新(A:昨年度を上回る更新回数、B:昨年度並みの更新回数)、魅力ある学校案内の作成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンスクールを実施し、生徒106名、保護者46名の参加があった。</li> <li>ホームページ等を通し、本校の活動を発信した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ホームページ」[学校案内]等を通し、本校の活動を昨年度以上に発信できた。</li> <li>オープンスクールを実施し、体験授業等も行うことができた。</li> <li>「翔南通信」の配布先を拡大できた。(従来の見島支所・短大、見島地区の公民館などに加えて、見島地区の中学校及び灘崎・興除公民館を追加)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに積極的に本校の情報を発信していくための方法等を検討する。</li> </ul>